

教養教育科目

講義科目

科目名：	経済学		科目コード	GB04	
科目主査：	由川 稔	担当講師：	由川 稔	単位	4
				配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク：	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>本科目では、いくつかある経済学の分野の中で、ミクロ経済学・マクロ経済学の基礎を学びます。標準的な個人あるいは家計および企業は、与えられた条件の下で、どのように合理的な消費行動をとり、また、選択を行うのか、あるいはしていけばよいのか、という消費行動と企業活動の理論がミクロ経済学であり、広く・大きく一国全体として、生産と消費は国を挟んでどのようになっているのか、また、政府の経済政策はどうなっているのかを見ていくのがマクロ経済学です。様々な物事のメリットとデメリットを比較考量し、何が最適な選択かを理解できるようになることが目的です。</p>					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：			
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら質問できるように準備してください。インターネットや新聞など様々なメディアを注視し、経済の動向を肌で捉えるようにしてください。</p>				
テキスト	『入門経済学 第4版』井堀 利宏, 新世社, 最新版				
この科目の 到達目標	<p>①経済学の基礎知識を基に経済現象の相互関連や因果関係について説明できる。 ②経済のグローバル化と今後のわが国の経済政策について考察できる。</p>				
成績評価 の方法	<p>最終試験に加え、課題の提出など、授業に取り組む姿勢を評価の対象とします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>				
事後学習	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に新聞やニュースなどの経済関連記事に接するとともに、多様な解釈や見解にも触れるように心がけてください。 テキストの各章末の問題を解くことで知識の定着をはかりましょう。 				
事後学習の 参考文献	<p>『新・日本経済入門』三橋 規宏, 日経BPマーケティング(日本経済新聞出版), 2015年 『目からウロコが落ちる 奇跡の経済教室【基礎知識編】』中野 剛志, KKベストセラーズ, 2019年</p>				
スクーリング受講時に用意するもの					
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。					